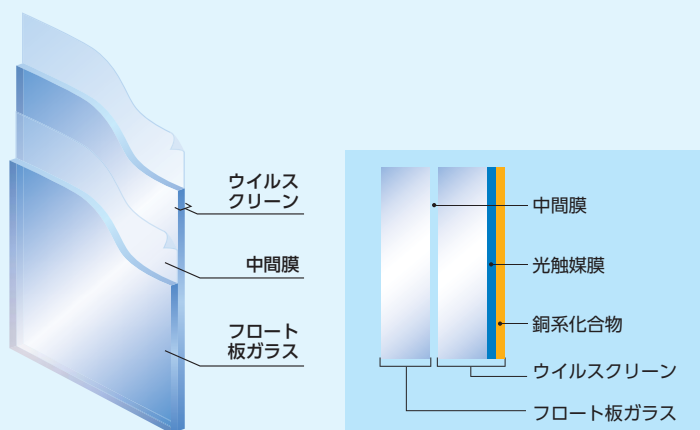


抗菌・抗ウイルス効果と 防災性能を実現

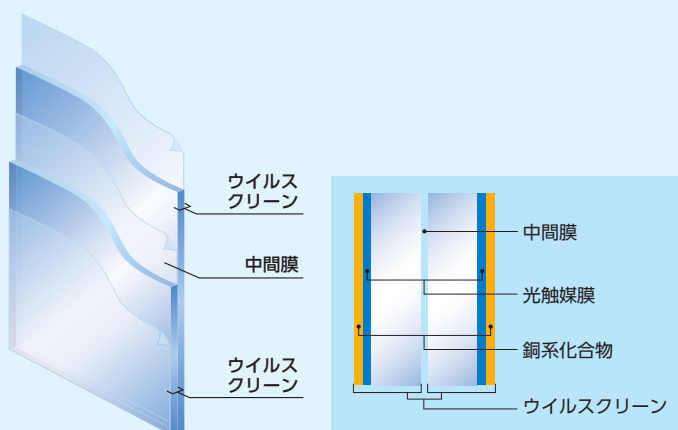
新発売

ウイルスクリーン®合わせガラスタイプは2枚のガラスの間に中間膜を挟んだ製品です。
ウイルスクリーン®本来の抗菌・抗ウイルス効果に加えて、防災性能を発揮。
万一、ガラスが破損した場合も破片の飛散や脱落がほとんどなく、衝撃物も貫通しにくく、被害を最小限に抑えます。

ウイルスクリーン®片面仕様



ウイルスクリーン®両面仕様

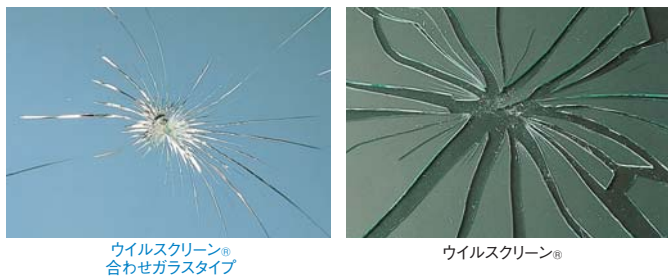


ウイルスクリーン®と普通のガラスのウイルス抑制効果の違いを当社ホームページで公開しています。
<http://glass-wonderland.jp/movie/virusclean.html>

※断面拡大図は分かりやすいように着色しています。

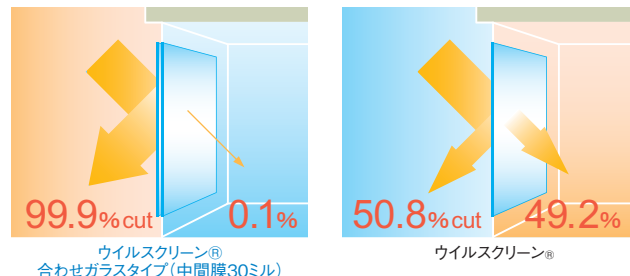
破片飛散の比較

ガラスは割れましたが中間膜により破片が飛散するのを抑えます。



紫外線カットの比較

中間膜が紫外線の侵入を大幅にカットします。



バリエーション

2枚のガラスをウイルスクリーン®で構成して両面に抗菌・抗ウイルス効果をもたせることが可能です(ウイルスクリーン®両面仕様)。また、中間膜を厚く(30ミル)することで、防災性能をさらに向上させることが可能です。

用途

防災性能が求められる病院や医療施設、公共施設の間仕切り、階段の手すり用などのガラスやガラスドアなどに。

抗菌・抗ウイルス効果が確認された一例

- 抗菌性 大腸菌、黄色ブドウ球菌、緑膿菌、レジオネラ、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)、多剤耐性緑膿菌 (MDRP)、多剤耐性アシネトバクター (MDRA) など
- 抗ウイルス性 インフルエンザウイルス、ライノウイルス、ネコカリシウイルスなど
- 抗カビ性 黒麹かび、カンジタ・アルピカンスなど

※詳細は別冊「ウイルスクリーン®」製品カタログをご参照ください。

性能表

製品名	品種略号 構成品種	呼び厚さ (ミリ)	光学的性能							熱的性能					
			可視光			日射			紫外線 透過率 (%)	熱貫流率		日射			
			透過率 (%)	反射率 (%) OUT	反射率 (%) IN	透過率 (%)	反射率 (%) OUT	吸収率 (%)		(W/m ² K)	(kcal/mh ² C)	遮蔽係数		日射熱取得率	
ウイルススクリーン® 合わせガラスタイプ	FL5 中間膜15ミル RSNFL5PC*	10.4	82.2	13.1	13.7	70.5	9.6	19.9	0.5	5.7	4.9	0.88	0.87	0.77	0.76
	RSNFL5PC 中間膜15ミル RSNFL5PC	10.4	78.2	18.3	18.3	69.8	13.6	16.6	0.4	5.7	4.9	0.86	0.85	0.75	0.74
	FL5 中間膜30ミル RSNFL5PC*	10.8	82.2	13.1	13.7	69.5	9.5	21.0	0.1	5.6	4.8	0.87	0.86	0.77	0.75
	RSNFL5PC 中間膜30ミル RSNFL5PC	10.8	78.2	18.3	18.3	68.8	13.5	17.7	0.1	5.6	4.8	0.85	0.84	0.75	0.74

品種表

製品名	ガラス構成			呼び厚さ (ミリ)	最大寸法 (mm)	最小寸法 (mm)
	室外側	中間膜	室内側			
ウイルススクリーン® 合わせガラスタイプ	FL5	15ミル	ウイルススクリーン5	10.4	3,000×2,000	100×100
	ウイルススクリーン5	15ミル	ウイルススクリーン5	10.4		
	FL5	30ミル	ウイルススクリーン5	10.8		
	ウイルススクリーン5	30ミル	ウイルススクリーン5	10.8		

【表中の記号】FL:フロート板ガラス

表示シール



この表示シールが貼付されているガラス面に光触媒膜がコーティングされています。

ご採用にあたって

- ウイルススクリーンはガラス表面に付着したウイルス・細菌の活性を抑制する商品です。抗菌・抗ウイルス性能を得る条件として、太陽光や蛍光灯などの可視光を当てる必要があります。
- ウイルススクリーンは製造後の加工が出来ませんので、ご注文の際は寸法や形状にお間違いなきよう十分にご注意ください。
- 高温、多湿、または水回りでのご使用はお避けください。(トップライト、温室、温水プール、浴室、シャワーブースでの用途にはご使用いただけません。)

設計・施工上のご注意

- 窓などの開口部へご採用の場合はウイルススクリーン片面仕様として、コーティング面は室内側にご使用ください。
- 施工時、コーティング面にプライマー、シリコン等のシーリング材などを付けないよう手袋、治工具、作業方法にご留意ください。
- ガラス回りに一般的に使用されるシリコン系シーリング材は、難分解成分オイルが滲みだすことによる汚れにより、抗菌・抗ウイルス性能が発揮できなくなります。右表に市販の低汚染性シーリング材をご紹介しますので、適用可否や取り扱いにつきましては各シーリング材メーカーにお問い合わせください。
- 金属ペラ(含む金属スクレーパー)でコーティング面を擦るとキズが付きますので、竹ペラ等をご使用ください。
- 施工は、高性能熱線反射ガラス(製品名レフシャイン)に準じてください。

- 強化ガラスの加工はできません。

■市販の低汚染性シーリング材

シーリング材	商品名	止水性	汚染性
アルコール系シーリング材	一般市販品	○	△
オキシム系シーリング材	一般市販品	○	△
低汚染型オキシム系シーリング材	マスター 300LS	○	○
ポリイソブレン系	2成分 ホンドエクスール1B	▲	◎
	2成分 ハマタイト マイレックス-Z	▲	◎
	2成分 ペンギンシール7000	▲	◎

◎:表中材料で相対評価が最も良い ○:一般のシリコンと比較して汚れの進展が半分程度
△:難分解性オイルにより汚れが目立つ
▲:通常のシリコンと比較してプライマー依存度が高く、温度・地震時のムーブメント追従性が低い

使用・メンテナンス上のご注意

- 汚れの程度に応じてウイルススクリーンを清掃する場合、柔らかいスポンジときれいな水、または中性洗剤で表面の汚れを落とし、きれいな水ですすいでください。
- ウイルススクリーンはカッターナイフ等でコーティング面を擦るとキズが付きますので、ご注意ください。また、スキージーのご使用もお避けください。
- 砥粒を含んだ洗剤や酸、アルカリ度の強い洗剤のご使用はコーティング膜のキズの原因になりますので、絶対にお避けください。
- しゅくいやモルタル等がガラス表面に付着し、乾燥すると除去が困難になります。薬品を使用して除去しますとコーティング面が侵されますので、付着した場合は乾燥する前に速やかにコーティング面にキズをつけないように中性洗剤でクリーニングしてください。壁面リフォーム等の際にもガラス面の養生は十分に行なってください。

※ 恐れ入りますが、上記のご注意事項とあわせて、総合カタログ「商品編」に掲載している「合わせガラス(製品名:ラミペーン)」のご注意事項をご参照ください。



ご注意

製品のご採用にあたっては、日本板硝子の総合カタログ「ガラスを安全に、大切にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

日本板硝子株式会社

東京本社 〒108-6321 東京都港区三田3丁目5番27号(住友不動産三田ツインビル西館)
大阪本社 〒541-8559 大阪府大阪市中央区北浜4丁目5番33号(住友ビル)

札幌 TEL(011)377-2860 仙台 TEL(022)359-8665 東京 TEL(03)6403-8501
名古屋 TEL(052)238-1391 大阪 TEL(06)6222-7531 福岡 TEL(092)451-5594

住まいの窓ガラス情報サイト

<http://glass-wonderland.jp/>

日本板硝子お客様ダイヤル ☎ 0120-498-023 9:00~12:00, 13:00~17:30(土日祝休) FAX 0120-498-029

●本カタログは2013年8月現在の内容について掲載しています。●本カタログに記載されている性能、数値などは保証値ではありませんのでご了承ください。
●本カタログに記載されている写真は、印刷のため実際の色と多少異なります。●製品の仕様等は、予告なく変更することがございますのでご了承ください。

2013・08/06①